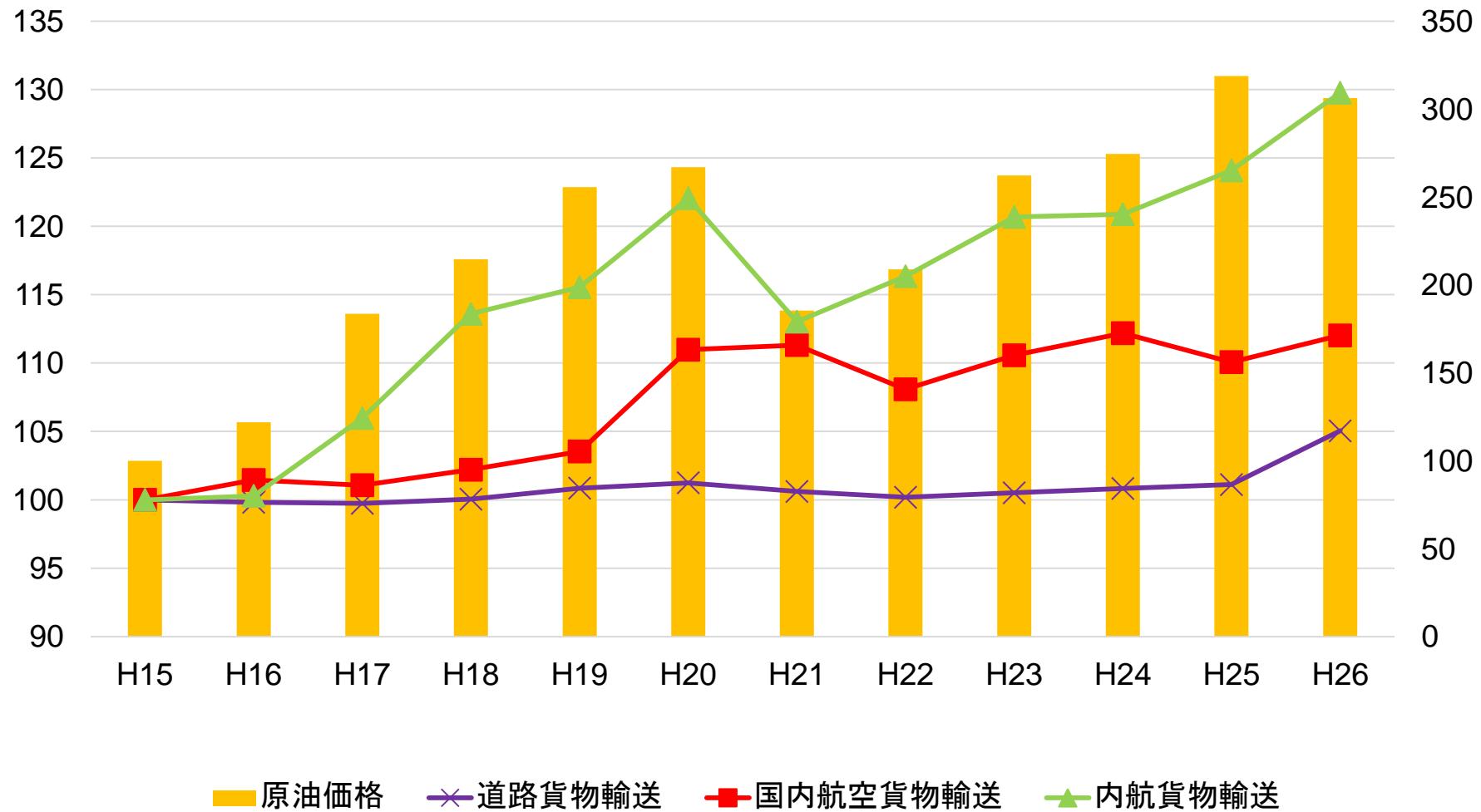


業種別の価格指数と燃料価格の推移

(単位:H15=100 [左軸が道路貨物輸送・国内航空貨物輸送・内航貨物輸送の指数、右軸が原油価格の指数])



(資料:日本銀行「企業向けサービス価格指数(2010年基準)」及び「企業物価指数(2010 年基準)」から作成)
※原油価格は輸入物価指数(円ベース)のもの

○ 元請事業者、物流子会社217社に対する調査。(下記、元請①、元請②が調査対象)

(元請)

- ①燃料価格高騰分を全く收受できていない元請事業者が約3割。
- ②その他約7割の元請事業者についても、半数以上の事業者が必要と考える金額の3割未満しか收受できていない。

(下請)

- ③上記①の元請の下請事業者の約7割は、元請に要請すらしていない。
- ④上記②の元請の下請事業者の約8割は、元請に要請しており、要請された元請の大半は何らかの対応をしている。

3割

全く收受できていない元請

荷主

【收受できていない理由】

- ・荷主から自助努力を求められる
- ・燃料サーチャージが複雑かつ手間

元請①

- ・元請の約7割が下請から要請がないと回答

下請③

交渉のスタート地点
にも立っていない！

7割

一部でも收受できている元請

荷主

- ・半数以上の事業者が必要と考える金額の3割未満しか收受できていない。

元請②

- ・元請の約8割は要請があり、その大半は何らかの対応をしていると回答。
- ・下請からの要請がない場合、元請の半数以上が燃料価格高騰分を支払っていないと回答。

下請④

元請への
要請が重要！